

渡島所報は管内教育の「研究」「実践」「交流」のための情報発信を目的にしています



渡島教育研究所 授業公開 (大中山小学校)

## ＜ も く じ ＞

- ☆ 巻頭言……………p. 1
- ☆ 渡島教育研究所 授業公開・研修講座……………p. 2
- ☆ シリーズ学校・子供 157  
七飯町立大中山小学校……………p. 3



## ウェルビーイングの向上について

渡島教育研究所 維持委員会 会長

七飯町長 杉原 太

渡島教育研究所の皆様には、「渡島の教育課題」に即した調査研究や実践、情報発信など渡島管内の教育振興及び教員の資質向上のため日々ご尽力いただき、心から敬意と感謝を申し上げます。

本年6月に令和5年度から令和9年度を計画期間とする「第4期教育振興基本計画」が閣議決定されました。この基本計画では、2040年以降の社会を見据えた持続可能な社会の創り手の育成、日本社会に根差したウェルビーイングの向上が大きなコンセプトとして掲げられました。

ウェルビーイングとは、「身体的・精神的・社会的に良い状態にあること」をいい、多様な個人がそれぞれの幸せや生きがいを感じるとともに、個人を取り巻く場や地域、社会が幸せや豊かさを感じられる良い状態にあることであり、教育を通じて向上させていくことが求められています。

そのため、子供たちが毎日学校に行きたいと思えることは勿論のこと、様々な課題がある中であっても、教職員が子どもの成長に直接携わることにやりがいがあり、魅力的な仕事であるとともに、学校が教職員にとっても働きたい、働き甲斐がある場所であることが必要となります。

それらに対し渡島教育研究所が実践する様々な調査研究により、よりよい状態となっていくことを期待しております。

今後も、渡島教育研究所が行う今日的な教育課題を踏まえた調査研究や研修事業の実践により、その成果が渡島管内の教育活動の改善・充実に生かされることを心から願っております。

# 渡島教育研究所 授業公開・研修講座

## テーマ「指導と評価の一体化」の実現に向けた授業改善と検証

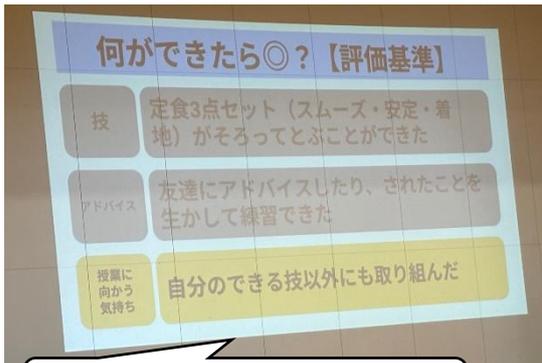


11月14日（火）、渡島教育研究所授業公開・研修講座を大中山小学校で開催しました。体育科における「指導と評価の一体化」を目指し、ルーブリックを活用した授業の公開をし、協議・演習を行いました。授業公開・研修講座には、各市町から19名に参加していただき、研修を深めることができました。その様子について、紹介します。

### ①授業公開

小学校6年生の「跳び箱運動」において、当研究所所員の菅原俊介による授業公開をしました。授業では、「自分にあった技を安定してできるようになろう」という目標や、何が出来たら◎かというルーブリックを児童と共有した上で、児童がそれぞれの技に挑戦し、学習の成果を確認したり、賞賛し合ったりする姿が見られました。

参加していただいた皆様には、実際に授業者になったつもりで、ルーブリックを載せた演習シートをもとに、ルーブリックによる評価を体験していただきました。



児童と評価基準を共有

児童同士でアドバイスし合う

ICTを活用して、技を見直す児童

### ②協議・演習

参観した授業をもとに、A評価は、Bを越えていると判断した理由を、C評価は支援案を交流しました。

また、実際にルーブリックを活用してわかる、メリットやデメリットについて、協議しました。

#### メリット例

→明確な基準があることによる、意欲向上。教師と児童で規準と基準を共有でき、方向性がぶれない。

#### デメリット例

→基準を正確に作ることが悩む。



### 【参加者の声（アンケートから一部抜粋）】

- ルーブリックという言葉は最近よく聞きますが、どう活用するかイメージを持ちたくて今回参加させていただきました。とても新鮮でした。
- 教師主観の評価にならないよう、常に児童とのやりとり（指導）をしながら授業を進めることは、難しいと感じていたので、とても有意義な時間になりました。
- 授業改善が叫ばれる中で、ルーブリックを使った方法を、もっと一般の先生方にも広めて行ければ良いなと思いました。

## 七飯町立大中山小学校

児童数：674名（26学級）

### 学校教育目標

- 考える子
- やさしい子
- たくましい子

### 重点教育目標

#### 【学校の目標】

- 進んで学び  
互いに認め合い  
高め合う子  
の育成

#### 【児童の目標】

- チャレンジしよう！
- 自分の考えをもとう！
- うまく伝えよう！
- ねばり強くやりきろう！
- 自分も まわりの人も大切にしよう！



### 学力向上の取組

#### 1 学習環境の整備

- (1) 学習規律の確立（月ごとの重点事項の提示，児童の自己評価，状況の交流）
- (2) 「問題」「課題」「考える」「まとめ」を基本形態とした授業と板書
- (3) 学級・校内掲示の整備

#### 2 「学力アッププラン」の取組

- (1) 「子供が自ら進んで学ぶ」資質・能力の育成
  - ① 宿題の実施（低学年は家庭採点・中高学年は自己採点）と高学年の自学ノートの取組の推進
  - ② AIドリルの利活用（家庭学習にも利活用）
  - ③ 朝学習の活動の定着（朝読書・基礎ドリル等のメニュー化）
  - ④ 夏休みサポート学習の実施（2日程度）
- (2) 各種検査結果の活用

#### 3 「主体的・対話的で深い学び」を視点とした授業改善

- (1) 校内研究・研修の充実
  - ① 研究主題「自らの考えや思いを伝え合い，学び合う子供の育成」
    - ◇ 令和3年度：主体的に学ぶ資質・能力の育成～単元構成や導入の工夫
    - ◇ 令和4年度：対話的に学ぶ資質・能力の育成～表現する学習活動の工夫
    - ◇ 令和5年度：主・対・深の実現～伝え合う学習活動の工夫（「教師と子供の目指す姿の共有」「交流を活性化するICTによる支援」を主眼に），「山っ子情報活用図鑑」へのICTを活用した学習活動の集積（公開（町内限定）による活動の価値付けと下級生への意識付け）
  - ② ブラッシュアップ研修の計画的実施（ICTを日常的・効果的に活用する授業構築へのスキルアップを目指して）



## 編集後記

本号では、「渡島教育研究所授業公開・研修講座」について掲載しました。数年ぶりに，当研究所での授業公開ができ，大変嬉しく思います。今後も，先生方の研修に役立つよう，研究を進めていきたいと思ひます。（文責 渋川）

E-mail [o-kenkyu@lilac.plala.or.jp](mailto:o-kenkyu@lilac.plala.or.jp)  
 ホームページ <http://www9.plala.or.jp/oshima-kenkyusho/>  
 渡島ネットワーク <http://Quickconnect.to/o-kenkyu>



このQRコードから  
渡島ネットワークに  
アクセスできます！

令和5年度

渡島市町教育研究所員共同研修講座

# 指導と評価の一体化

## ～ループブックを活用した授業改善～

指導と評価の一体化ってよく聞くけれど、具体的に何ができればいいのだろうか？

研究所では、指導と評価の一体化を実現するための手段の一つとして、今年は「ループブック」を取り上げて研究を行いました。

評価ツール「ループブック」の活用方法や、実践例を発表します。また、実際に作ってみる時間も設けました。

日々私達が行っている授業や評価について、

- ・疑問点
- ・困っていること
- ・うまくいったこと…など、

気軽に交流しませんか？ きっと新しい気付きがあるはずですよ。

1 ねらい 渡島市町教育の運営や研究の充実を目指し、研究交流を通して研修の在り方や日常実践の工夫改善に努め、教職員の資質向上を図る。

2 主催 渡島教育研究所

3 参加対象 渡島小中学校教職員

4 期日 令和6年1月11日(木) 13:30～16:20(受付13:15)

5 場所 大中山コモン 大会議室 (亀田郡七飯町大中山3丁目275-2)

6 日程

13:15	13:30	13:40	14:20	14:30	15:20	15:30	16:10	16:20
受付	開講式	提言 実践発表	休憩	協議・演習	休憩	講演	閉講式	

7 内容

提言 「指導と評価の一体化 ～ループブックを活用した授業改善～」

協議・演習 「明日使えるループブックの作成」

講演 講演題 「今日的な教育課題」

講師 北海道教育庁渡島教育局教育支援課義務教育指導班指導主事 三笠 裕也 氏  
吉田 智宏 氏



こちらからお申し込み下さい